

全国の情報は国立感染症研究所感染症情報センターホームページにてご覧ください。 <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

### 定点把握感染症 (指定された医療機関から報告を求める感染症です)

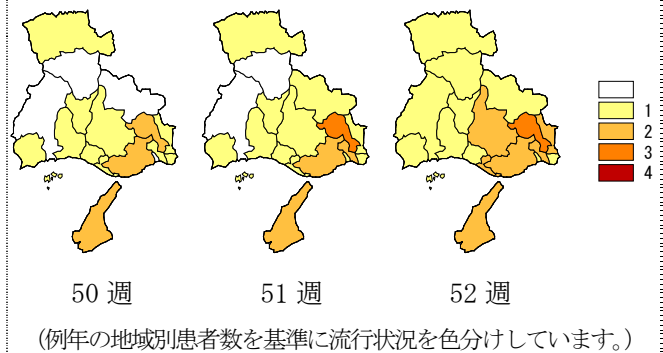
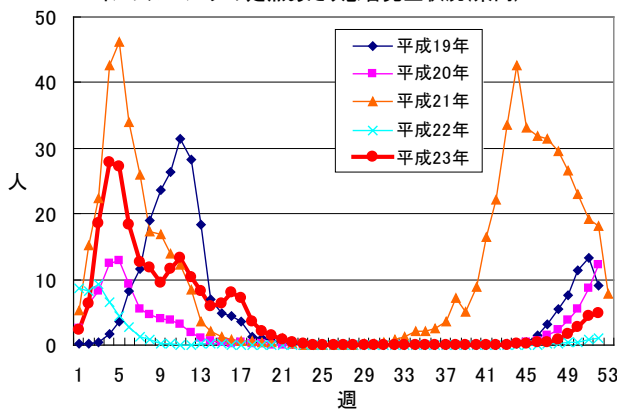
#### インフルエンザ

インフルエンザの定点あたり患者数は今週 **4.77 人** (先週 4.53 人) と、わずかながら更に増加しました。地域的にみると、宝塚 (13.22 人) 及び加東 (10.46 人) の各保健所管内で注意報基準である定点あたり 10 人を超えたほか、神戸市 (6.77 人)、洲本 (6.00 人)、西宮市 (5.71 人) の各保健所管内で定点あたり 5 人以上となっています。

当研究所では今シーズン、尼崎市、西宮市、宝塚、加古川、豊岡、洲本の各保健所管内の患者 35 名の検体から 32 件の AH3 亜型 (A 香港型) インフルエンザウイルスを検出しています。

インフルエンザの予防として、手洗い、うがい、咳エチケットの励行、マスクの着用など、インフルエンザに罹らない、広げない対策が重要です。また、感染が疑われる場合は早めの受診が重要です。

インフルエンザの定点あたり患者発生状況(県内)

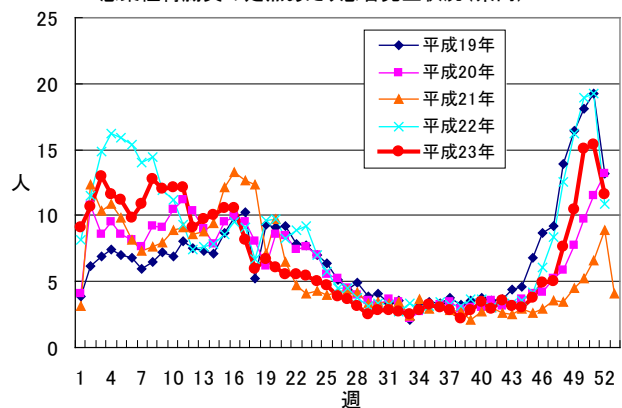


#### 感染性胃腸炎

定点あたり患者数は今週 **11.62 人** (先週は 15.41 人) と減少しました。

この時期の感染性胃腸炎はノロウイルスによるものが多いと言われています。ノロウイルスは患者の大便や吐物中に大量に含まれており、感染力が非常に強いウイルスです。感染を拡大させないためには、手洗いの励行を基本に、吐物などの後始末を素手で行わない、二枚貝類は十分に加熱して食べるなどの注意が重要です。

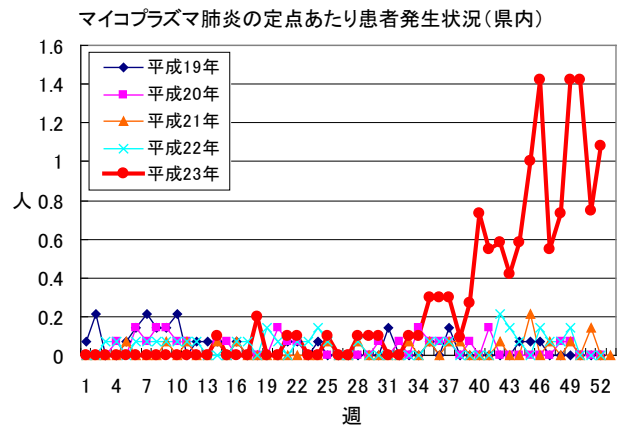
感染性胃腸炎の定点あたり患者発生状況(県内)



マイコプラズマ肺炎 

定点あたり患者数は今週 **1.08 人**（先週は 0.75 人）と増加して依然例年に比べて患者数の多い状態が続いています。全国的にも患者数が多く、注意が必要です。

マイコプラズマ肺炎は肺炎マイコプラズマを病原体とする呼吸器感染症で、感染患者からの飛沫感染や接触感染により伝播するといわれています。特異的な予防方法はありませんが、流行期には手洗い、うがいなどの一般的な予防方法の励行と、患者との濃厚接触をさけることが重要です。



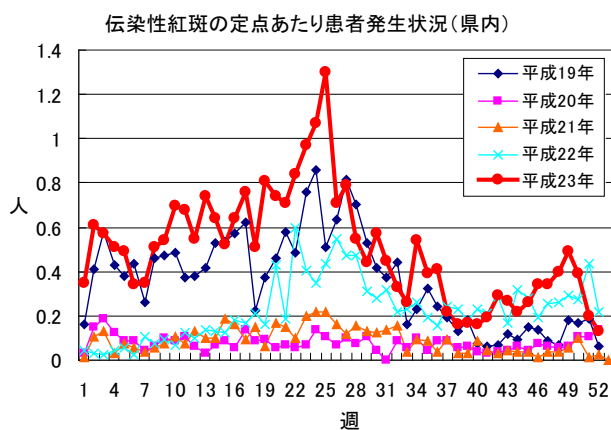
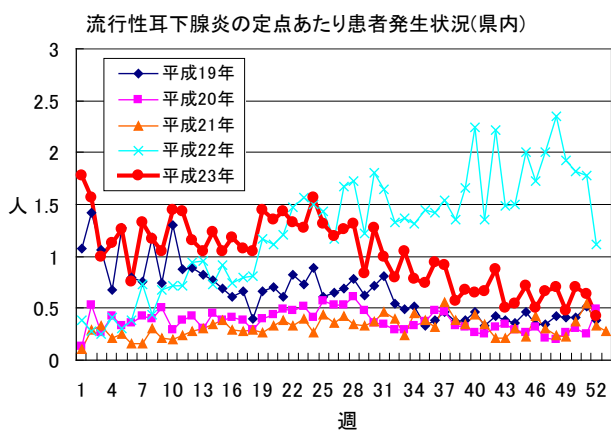
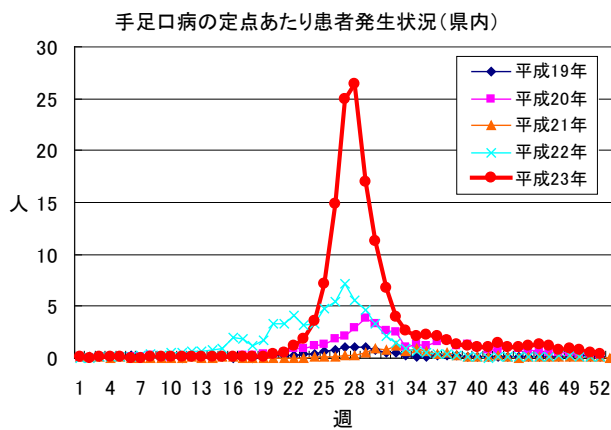
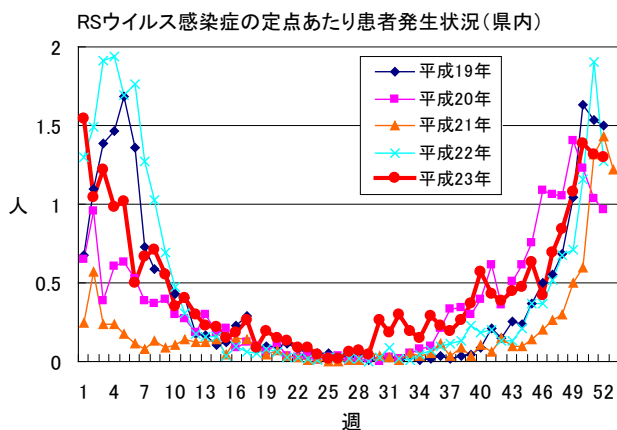
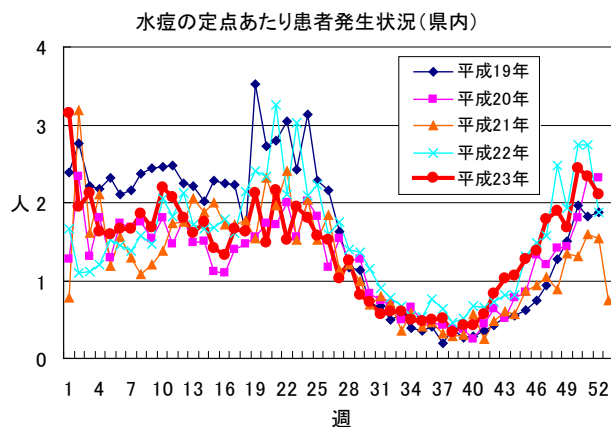
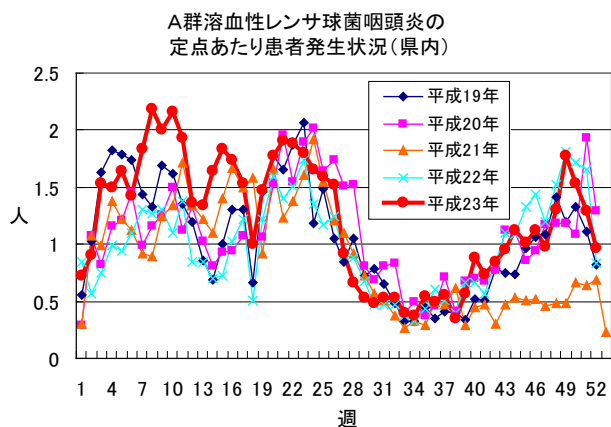
## 定点あたり患者数の上位 10 位の疾病

	疾病名	定点あたり患者数		増減		疾病名	定点あたり患者数		増減
		今週	先週				今週	先週	
1位	感染性胃腸炎	11.62	15.41	-3.79	6位	A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	0.97	1.29	-0.32
2位	インフルエンザ	4.77	4.53	+0.24	7位	突発性発しん	0.49	0.41	+0.08
3位	水痘	2.10	2.34	-0.24	8位	流行性耳下腺炎	0.42	0.64	-0.22
4位	RSウイルス感染症	1.30	1.32	-0.02	9位	手足口病	0.39	0.49	-0.10
5位	マイコプラズマ肺炎	1.08	0.75	+0.33	10位	流行性角結膜炎	0.24	0.49	-0.25

## 全数把握感染症（すべての医療機関から報告を求める感染症です）

1類感染症	報告はありません。
2類感染症	<b>結核 12名</b> （尼崎市 1名、姫路市 1名、西宮市 1名、芦屋保健所管内 1名、伊丹保健所管内 1名、明石保健所管内 1名、加東保健所管内 3名、豊岡保健所管内 2名、丹波保健所管内 1名）
3類感染症	報告はありません。
4類感染症	報告はありません。
5類感染症	報告はありません。
追加報告	<b>結核 3名</b> （西宮市 1名、宝塚保健所管内 1名、丹波保健所管内 1名）

目で見る動向（県内）



この週報は兵庫県立健康生活科学研究所：健康科学研究センターホームページ <http://www.hyogo-iphes.jp/> にも掲載しています。  
また、<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html> から国立感染症研究所感染症情報センターの週報（IDWR）がダウンロードできます。